



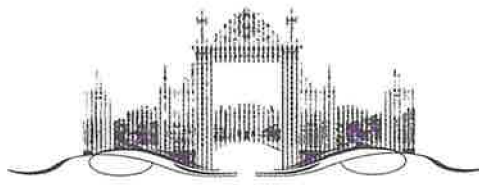
Rotary International

ROTARY SHARES

ロータリーは分かちあいの心

2007～2008 年度

国際ロータリーテーマ:ウィルフリッド J.ウィルキンソン会長



Rotary Club of Tokyo-Akasaka

赤坂

東京赤坂ロータリークラブ

No.961 / 2007.7.27

例会 / 毎週金曜日12:30

例会会場 / ANAインターコンチネンタルホテル東京
Tel 03-3505-1111

事務局 / 〒107-0052東京都港区赤坂2-19-8

赤坂2丁目アネックス3F

Tel 03-3505-5976

Fax 03-3505-6004

akasaka-rotary@w8.dion.ne.jp

http://www.k5.dion.ne.jp/~akasaka

Weekly Report

東京赤坂ロータリークラブ週報

「拓げよう友の輪、分かちあおう喜びを！」

2007～2008年度・東京赤坂ロータリークラブテーマ / 小原健会長

●本日の例会 / 2007年7月27日 第984回例会

イニシエーションスピーチ

当クラブ会員 駒井 勝 氏

(有限会社 青山津乃国屋 代表取締役)

—●先週報告 / 2007年7月13日 第982回例会—

会長報告:

サンタモニカRC
Maxwell Fox氏と
バナー交換



幹事報告:

- ① 中越沖地震募金をお願いいたします。
- ② 米山奨学生・学友のB.B.Qパーティーが、8月26日(日)
PM 5:00～東京アメリカンクラブにて会費6,000円
で開催されます。

国際奉仕委員会報告: (尾上寛委員長)

ロータリー財団100ドル寄付のお願いです。円換算で
12,200円です。皆様よろしくをお願いいたします。

社会奉仕委員会報告: (西澤(民)委員長)

「都立赤坂高校インターンシップ受入れアンケートの
お願い」です。H20.2に同校生徒2年生116名にインター
ンシップを経験させるため、受入れが可能かどうかのア
ンケートをボックスへ配布いたしました。ご記入の程、
お願い申し上げます。

慶事披露:

誕生日 祝 / 墨屋 勇君 (7月23日)

出席報告:

会員52名 / 出席33名・欠席19名 (出席規定免除者5名)
ビジター / 野沢亨 (東京銀座RC)、細谷義徳 (東京日本
橋西RC)、藤井一雄 (広島RC)、Maxwell Fox
(Santa Monica RC)

計4名 (順不同・敬称略)

ゲ ス ト / 實藤政子

計1名 (敬称略)

●次週予告 / 2007年8月3日 第985回例会

『日・タイ修好120周年・日本人社会の変容』

株式会社アメリカンサービス特別顧問 八島 宏次 氏
(元タイ大使館領事顧問)

第2回 クラブ協議会

日 時 2007年7月20日 (金) 例会後 13:10 ~ 14:40

テーマ 『将来の例会について』

司 会 幹事 岩上 義明

出席者 小原、四分一、吉田(用)、柴本、大日方、武下、福島、
高須、吉岡、松永、尾関、村山、竹本、西澤(民)、橋本、
西澤(正)、清水、藤井、飯島、椎名、尾上、石井、岩上
(敬称略、順不同)

1. 会長挨拶

小原会長

本日のクラブ協議会は「例会のもち方」について協議を設定いたしました。ロータリークラブの例会は、週1回・月4回昼間というのが当然のごとく受け入れられてきましたが、もともと、このような形であったわけではありません。例えば、日本ではじめて出来た東京RCは、当初月1回であったようです。他クラブが週4回になっても、しばらくは月1回の例会を続けており、それが特権のようなものであったと記されております。これは1つの例ですが、当クラブにおいても将来ずっと現在の形でよいのか、世の中は変わってきており、人の働き方、生活の仕方も変わってきます。世の中が変わっても、変わらないものがあり、それが例会であるというのであれば、それはそれでいいと思いますが、ここで色々な試みをするのもロータリーの1つのあり方だと思います。お配りした資料にRIからの「試験的プロジェクトの申請」があります。すでに申請受付は終わっているのですが、単なる資料ですが、例会の頻度に柔軟性をもたせることで、クラブにどのような影響を与えるか、ということで、目的としては退会防止、新会員を増やす等などがあげられております。このようにRIでも例会について考えております。これが、規定審議会で決まれば、将来的に月2回というクラブもできてくるだろうと思われます。その時に当クラブはどのような選択をするのかということもあります。今すぐという訳ではありませんが、当クラブの例会も持ち方が、会員増強などにどのような影響があるかなども含め、皆様の意見を交換し、今後の展望にしたいと思いますので、活発なご意見をお願いします。



2. 司会者挨拶

岩上幹事

ロータリーの例会というと、礼拝によく似ていると感じます。礼拝は、まず歌を歌い、食事がある場合ない場合もありますが、食事をして、牧師などのお話を聞くという流れです。で、例会の流れと似ています。ロータリーも長い歴史があり、現在は100年をすぎ、2世紀に入るわけですが、新しい世紀に向かって、何か新しい例会の方法もあるのではないかと感じています。

3. テーマの主旨について

四分一副会長

今すでに、会長から本日のテーマの主旨についてはお話がございましたが、これからお話をいただく、SAA、親睦活動委員会、プログラム委員会とありますが、SAAは会場監督で例会の監督、ホテルとの交渉、食事のことになります。プログラムについては、例会をどのようなプログラムにするのか、それから、親睦もそうですが、より例会に出席しやすい、行って楽しいといったことを考えて運営していきます。これが、会員増強につながるということも含めた例会のあり方を、本年度ということではなく、3年先5年先、どのような例会運営をしていったらいいかということをご意見をいただき、今後の参考にさせていただきたいと思います。

4. クラブ管理運営委員会

SAA

松永委員長

例会場の運営管理はSAAの責任ですが、会場の確保と円滑な進行が基本と考え、そのための準備や手配を行います。また、会員が親睦を深め、ビジターやゲストに寛いでいただけるよう心配りいたします。このため、ハード面では会場の手配や機材の準備、またソフト面では着席のアレンジや飲食物の提供が主な任務となります。例会場として必要な条件は採光・静寂・温度が確保されていることですが、幸い現在はホテルの会場を使っているためコストはかかるものの（また少し外光は足りませんが）物理的にはほぼ満たされています。地方や海外では公共施設を使ったりカントリーハウスで開催したりしているクラブもあり、状況は違いますが参考になるかと思えます。食事についてもビジターのことを考えると質を落とすわけに行きませんが、季節感やカロリーに配慮したメニューを工夫したいと考えています。

なお、ホテルとの協約で毎回40食が提供されていますが、出席が30～35人で毎回かなりの食事が廃棄されています。減らすよう要望していますが、ホテルも採算上のことがあり受け入れてもらえません。「もったいない」だけでなく、地球環境から考えると資源の無駄遣い、環境汚染にもなります。出席率を上げ、新会員を増やすことが最善の解決策ですが、SAAとしても、量を調整できるバイキング形式を増やすなどして対応したいと思えます。

親睦活動委員会

椎名委員長

例会はアイデアを交換する場として記されている書籍がありますが、食事をしながら、おしゃべりをするというのは難しく、なかなか親睦を図ることが難しいのが現状であります。こういったことから、親睦活動からすると、例会以外の火曜会などで、例会で味わえないものを味わっていただければと思います。例会では、非常にためになる楽しい卓話もあるため、例会は例会のプログラムで楽しんでいただくのがよろしいのかとも思います。

プログラム委員会

橋本副委員長

1. 2006～2007年度プログラム委員会活動計画に則り、プログラムを検討する。
2. 特色としては、下記のジャンルにわけられる。
 - (1) 国・地方の諸制度・施策に関するテーマ
 - (2) 国際親善に関するテーマ
 - (3) 特別興味を引く卓話
 - (4) 芸能・スポーツ関係

小原会長：

現在の例会頻度を月4回から2回にする、月3回にして、月末は夜間にする、月4回にして月末は夜間にするなど、例会の回数、時間帯について、皆様の率直なご意見をいただければと思います。

5. 自由討論

柴本会員：

回数を減らすとなると、100%出席の扱いなど認められるのだろうか。いろいろなことを含め簡単な問題ではないと思う。確かに、考えておくことは必要だと

は思う。例会のあり方は、皆試行錯誤している。横浜のRCへメイクアップに行くことがあるが、そこでは、食事を先にとります。12:30より前に来た人から順に食べていきます。その間に、色々な話をしています。例会では卓話を聞いたり、委員会報告をしたりして、しゃべる時間がないというのがあるため、横浜のRCでは、しゃべる時間をとるために、早めに食事をするようにしているようです。これが、うちの例会で可能かどうかとなると、それもまた検討が必要となるだろう。現在当クラブで、こういったことを補っているのが火曜会であると思うので、火曜会の充実が大切な部分であると思う。こういったように、時々、先に食事をするといったことをやってみる手もあると思うので、考えてみてはどうだろうか。当クラブにおいては、ホテルの都合もあると思うので、カレーの時間などで可能かと思えます。

岩上幹事：

他のクラブの例会にメイクアップに行ったことがある、行っているという方はおりますでしょうか。

村山会員：

京王プラザホテルでは、毎日のようにRCの例会が開催されています。そこでの例会は、当クラブの例会とほぼ同じ形です。しかし、食事の出し方については、柴本会員がおっしゃるように先に提供するというのをやってみるといいような感じがします。日頃から感じることはあるのですが、RCもアメリカからの輸入であり、かっこうばかりを真似して、本質を忘れてしまっているように感じます。地方にいくと、ホテルとは別の場所でやっていたり、必ずしもホテルとは限りません。つまり、本質的な部分を見直し、例会の内容、食事の出し方についても検討していくのがいいのかもしれません。

私が最初にクラブに入ったとき先輩に「必ず20分前には行くように」と話がありました。はじめはわかりませんでした。が、例会をやっている最中は、食事もしなければならぬ、卓話もあるので、おしゃべりは難しい。そういった意味で、例会場へ早くきて、皆との交流を図るということがそこにある。

今例会の頻度について行っているプロジェクトは、長い時間がかかるプロジェクトですが、規定審議会で決まるまでに大きな問題がでてくるので、なかなか決まるのには困難があると思います。先ほど岩上さんがおっしゃっていましたが、ロータリーはキリスト教的な部分があります。4つのテストなどは、本当に影響していますが、週1の例会というのは、そういった意味では原点に近いものがあり、生活のリズムにはまっている部分もあるのではないかと思います。

以下次号に続く



7月20日/6件 13,000円/本年度累計111,100円
多額のご寄付をありがとうございました。(敬称略)

小原健/点鐘にも慣れてきました。田村昭二/實藤(さねふじ)さん、入会よろしく願いいたします。岩上義明/お暑うございます。来週、柿の木坂へ引越します。ヨロシクお願い致します。西澤民夫/梅雨もそろそろ明けそうですね。尾関武男/本日、クラブ協議会出席できません。西澤さんニコニコご苦勞様です。西澤正雄/久しぶりのニコニコ担当です。ご協力ありがとうございました。